

落花生「Q なっつ」の育成

～^{さや}莢がきれいで、甘みが強い落花生品種～

「Q なっつ」は、莢がきれいで、甘みが強い、落花生の品種です。平成 10 年に「郷の^{さと}香」を母親、「関東 96 号」（「土の香」×「千葉半立」）を父親として交配して育成を進め、平成 30 年秋に品種登録され、デビューしました。

「Q なっつ」はやや^わ早生で、種子の出芽が良く、莢の外観がきれいで、収穫量は多く安定しています。 ※「Q なっつ」は、品種「千葉 P 1 1 4 号」の愛称です。

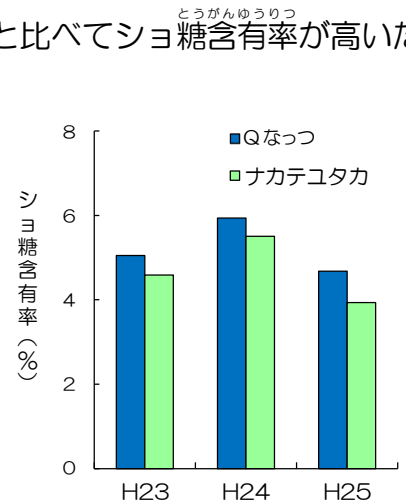
1 品種の特徴

- (1) 「Q なっつ」は、これまでの品種「ナカテユタカ」と比べて^{とうがんゆりつ}シヨ糖含有率が高いため甘みが強く、莢がきれいな特徴があります。



Q なっつ

ナカテユタカ



- (2) やや早生の品種で、収量は「ナカテユタカ」と同じく多く安定しています。発芽する時の障害である、^{ようがかつべんしょう}幼芽褐変症の発生は少なく、種子の出芽が優れています。



「Q なっつ」の株

2 普及の状況

平成 30 年 10 月中旬から愛称「Q なっつ」として一般販売が始まりました。令和 4 年の栽培面積は 105ha の見込みです（種子取扱量からの推定値）。

3 問い合わせ先 千葉県農林総合研究センター

落花生研究室 043-444-0676

4 掲載年月 平成 30 年 1 月（令和 4 年 10 月更新）